

企画展

『くらのやみの覇者—駿河湾のサメにみる多様性と未来—』

日時 2018年12月1日(土)～2019年3月24日(日)

一般に危険生物として恐れられるサメ。一方で、人は古来よりサメを海からの恵みとして利用してきました。近年の人間活動により減少し、いまや絶滅が危惧されるようになってしまったサメも少なくありません。この企画展では、最大水深2,500m近くに及ぶ「日本最深の湾」駿河湾を中心に静岡県でみられる様々なサメの実際の姿や生態を紹介し、人との関わりを振り返りながら、未来のより良い関係について考えます。



観覧料 一般600円(500円)、団体500円(1人につき)
小学生以上大学生以下・70歳以上300円(200円)
※()は前売料金 ※常設展も併せてご覧いただけます。 ※団体は20名以上 ※会期中に展示物の一部に変更があります。

場所 企画展示室1・2

ミュージアムでは、大人も楽しめる教養講座や子ども向けの体験講座を開催しています。本紙で紹介している以外にも沢山のイベントを用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

申込方法 ※全てのイベント参加には、常設展観覧券若しくは企画展観覧券が必要です。
※予約が必要な講座につきましては、ホームページ(www.fujimu100.jp)をご覧ください。

連続講座“天地に在りて、道を究める”

(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

文化・芸術・スポーツなど各界の第一人者をゲストに迎え、御自身のライフスタイルや持続可能な社会実現の鍵となる他者を慈しむ心のあり方について、お話をいただいています。聞き手は、当館の客員教授であり、歌人の田中章義氏が務めます。

定員 100名 場所 講堂 申込方法 HPまたは往復はがき ※締切日2019年2月21日(木)

オムニバス授業“地球環境史学”

(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

地球科学や生物科学の分野の第一線で活躍する研究者をお招きして、専門分野における最先端の研究成果をわかりやすく、深く、面白く、オムニバス形式でお伝えします。
ふじのくに地球環境史ミュージアムで、自然と人の暮らしの過去、現在、未来を考えてみませんか。

【第8回】 日時 2018年12月23日(日) 14:00～15:30
ゲスト 北村晃寿 (静岡大学理学部 教授)
テーマ 静岡地震津波研究のいま

【第9回】 日時 2019年1月27日(日) 14:00～15:30
ゲスト 森 勇一 (昆虫考古学者)
テーマ ムシの考古学

定員 100名 場所 講堂 申込方法 電話(054-260-7111)またはE-mail(info@fujimu100.jp)

企画展関連イベント

見学会・トークショー「深海おじさんのサメ解剖」

講師 長谷川久志、長谷川一孝(焼津・長兼丸)
日時 2019年1月13日(日) 14:00～16:00
会場 実習室

講演会①「サメとひと」

講師 「駿河湾の深海サメ」田中 彰(日本板鰐類研究会 会長)
「サメと混獲」シェリー・クラーク(Sasama Consulting)
「深海サメと化学物質汚染」堀江 琢(東海大学海洋学部 准教授)
日時 2019年2月3日(日) 14:00～16:00
会場 講堂

講演会②「サメと私」

講師 「シャークビリティ向上のススメ」沼口麻子(シャーク・ジャーナリスト)
日時 2019年2月24日(日) 14:00～15:00
会場 講堂

ギャラリートーク

担当研究員による展示解説を行います。
日時 2018年12月8日(土) 2019年1月12日(土) 2019年2月9日(土)
2019年3月9日(土) ※いずれも14:00から30分程度

料金 各回とも参加費無料(要企画展観覧券) 申込方法 HPをご覧ください。

2018.6.16-9.24 企画展「南アルプス展～北極とヒマラヤが出会う場所～」

南アルプスの成り立ちと、そこにくらす生物たちを、パネルや現地調査で得られた貴重な標本で紹介しました。南アルプスは、北から来た生物と南から来た生物たちが出会う場所でもあります。本企画展は、飯田市美術博物館にご協力いただき、お客様が南アルプスに出会い、今と未来について考える素敵な機会となりました。



2018.9.8 「連続講座」“天地に在りて、道を究める”【第13話】

ゲスト 葉 祥明(画家)
テーマ 地雷ではなく花をください

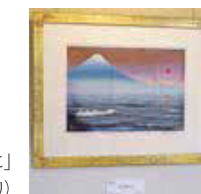
画家として、絵本作家として活躍される葉さんに、『地雷ではなく花をください』の出版までのいきさつなどについてお話をいただきました。講座中には、当館で募集した子ども短歌を葉さんに紹介しました。これを受け、葉さんからは、自身の体験も交え、化石に刻まれた46億年の地球の歴史を感じる感性が大切であるというメッセージもいただきました。講座の最後にはサイン会も行い、参加したお客様は葉さんと直接話をするのができ、大変満足そうでした。



※「連続講座」“天地に在りて、道を究める”及び「オムニバス授業」“地球環境史学”は、(公財)はごろも教育研究奨励会の助成により実施しております。

2018.9.12 牧野宗則さん木版画贈呈式

昨年度、当館で連続講座にご登壇いただいた木版画家の牧野宗則さんから、木版画「ふじのくに」の寄贈を受け、贈呈式を行いました。木版画「ふじのくに」は、講座室Eにてご覧いただけます。



「ふじのくに」
2016年 木版、紙(19版32度摺り)

2018.10.6-10.28 企画展「第一回ミュージアム写真展」

当館初となる県民参加型の企画展「第一回ミュージアム写真展」を開催しました。「私が百年後に残したい“ふじのくに”～静岡の人と自然～/私が見つけた静岡の自然」をテーマに、多くの県民の皆様からご応募いただいた写真の中から選りすぐりの約100点を展示しました。グランプリ作品の表彰式や写真展開催記念講演会も実施しました。



2018.8.26 「オムニバス授業」“地球環境史学”【第6回】

ゲスト 真鍋 真
(国立科学博物館 標本資料センター ディレクター)

テーマ 「恐竜学」最前線

恐竜研究者の真鍋さんに、恐竜についての最近の研究成果や仮説を取り入れた解説を、クイズを交えながらお話をいただきました。恐竜学についてお話をされる真鍋さんは、終始楽しそうな表情をしておられる様子が印象的でした。講座終了後も90分間にわたる個別質問や記念写真の時間をとってくださり、充実した時間となりました。

